



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月6日

上場取引所 東 名

上場会社名 新東工業株式会社

コード番号 6339 URL <http://www.sinto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 永井 淳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート部長

(氏名) 春田 則之

TEL 052-582-9211

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	21,093	12.0	553	—	686	195.1	452	335.7
27年3月期第1四半期	18,841	△1.3	3	△98.5	232	△69.8	103	△71.2

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 104百万円 (44.3%) 27年3月期第1四半期 72百万円 (△97.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	8.34	—
27年3月期第1四半期	1.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	139,258	94,427	64.6	1,668.17
27年3月期	146,315	95,278	62.0	1,672.19

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 89,989百万円 27年3月期 90,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	47,000	11.2	1,600	41.7	1,900	22.7	1,000	18.42
通期	95,000	1.9	4,000	18.4	4,700	6.5	2,700	49.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	54,580,928 株	27年3月期	56,554,009 株
28年3月期1Q	636,057 株	27年3月期	2,265,068 株
28年3月期1Q	54,250,224 株	27年3月期1Q	54,290,614 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の概況等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経済状況は、海外では、米国が雇用や消費の改善傾向を維持いたしましたが、欧州経済は、成長率の停滞が継続し、アセアン諸国やブラジル経済は減速感が鮮明となりました。

国内は、円安の定着などで輸出関連企業の業績改善が進むとともに、個人消費や設備投資に明るい兆しが見えてまいりました。

当社グループの事業環境につきましては、海外では、アセアン市場での自動車関連の設備投資需要が鈍化傾向にありますが、国内では、投資補助金による設備の更新需要や設備稼働率の向上に伴う投射材やメンテナンス部品などのアフターマーケット需要が堅調に推移しました。

こうした情勢を踏まえて、当第1四半期の受注高は24,252百万円（前年同四半期比22.1%増）、売上高は21,093百万円（同12.0%増）、受注残高は32,726百万円（同13.7%増）となりました。

収益面につきましては、売上高の増加に加え、販管費率の改善があり、営業利益は553百万円（前年同四半期3百万円）となりました。経常利益は、為替差損の発生があったものの、持分法による投資利益などの営業外収益の増加により、686百万円（前年同四半期比195.1%増）を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は452百万円（同335.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[鑄造分野]

国内市場においては、自動車関連向け鑄造装置をはじめ、幅広い分野での更新需要に下支えされました。海外では、欧州市場で低調な需要動向が継続した一方、中国での自動車部品向け鑄造設備の貢献があり、売上高は7,009百万円（同17.2%増）となりました。

営業利益は、売上の増加により102百万円（前年同四半期14百万円の損失）となりました。

[表面処理分野]

表面処理装置は、国内市場において、鉄骨向けショットブラスト装置が好調に推移するとともに、投資補助金による広範囲での更新需要で好調に推移しました。装置に使用する投射材は、国内市場での装置の稼働率向上などで物量を確保して、分野全体の売上高は、装置、投射材ともに増加して、9,680百万円（前年同四半期比17.1%増）となりました。

営業利益は、装置の大幅な増収効果に加え、投射材が価格政策やスクラップ価格の下落を受けて増益を確保し、910百万円（同137.0%増）となりました。

[環境分野]

鑄造業界やセメント業界などへの中・大型の集塵装置が堅調に推移するとともに、工作機械向け小型汎用集塵機が伸長しました。加えて、コンバーティング業界向けVOCガス浄化装置の寄与があり、売上高は2,065百万円（同10.5%増）となりました。

営業利益は、販売増の奏功により、63百万円（同97.8%増）となりました。

[搬送分野]

工作機械関連向けシザーリフトに加え、自動車部品・食品関連向けコンベヤが堅調に推移するとともに、福祉・医療向け段差解消機の需要が増加して、売上高は1,305百万円（同4.8%増）となりました。

営業利益は、売上原価率の改善があり、31百万円（前年同四半期26百万円の損失）となりました。

[特機分野]

自動車部品生産設備向けサーボシリンダが堅調に推移しましたが、有機EL向け精密測定装置や液晶パネル向けハンドリングロボットの売上は低迷し、当分野の売上高は1,306百万円（前年同四半期比23.9%減）となりました。

営業損益は、売上高の減少の影響により、153百万円の損失（前年同四半期40百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ7,057百万円減少し、139,258百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ6,206百万円減少し、44,830百万円となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ850百万円減少し、94,427百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下、「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下、「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下、「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,668	18,642
受取手形及び売掛金	31,065	30,688
有価証券	9,216	7,967
製品	2,895	3,021
仕掛品	4,523	4,826
原材料及び貯蔵品	3,396	3,212
その他	2,656	2,429
貸倒引当金	△288	△255
流動資産合計	80,134	70,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,960	12,498
機械装置及び運搬具(純額)	6,812	6,366
その他(純額)	9,423	9,294
有形固定資産合計	29,196	28,159
無形固定資産		
のれん	920	887
その他	2,846	2,748
無形固定資産合計	3,767	3,635
投資その他の資産		
投資有価証券	30,202	33,803
その他	3,038	3,146
貸倒引当金	△22	△21
投資その他の資産合計	33,218	36,928
固定資産合計	66,181	68,723
資産合計	146,315	139,258

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,754	12,569
1年内償還予定の社債	66	-
短期借入金	1,665	1,691
未払法人税等	976	239
賞与引当金	1,712	866
役員賞与引当金	97	34
プラント保証引当金	278	264
受注損失引当金	90	148
その他	11,506	8,033
流動負債合計	30,146	23,847
固定負債		
長期借入金	11,479	11,423
役員退職慰労引当金	312	302
環境安全対策引当金	63	63
退職給付に係る負債	794	751
資産除去債務	114	114
その他	8,126	8,328
固定負債合計	20,890	20,983
負債合計	51,037	44,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,752	5,752
資本剰余金	6,269	6,238
利益剰余金	64,446	63,479
自己株式	△1,309	△698
株主資本合計	75,158	74,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,692	11,450
為替換算調整勘定	4,217	3,028
退職給付に係る調整累計額	729	739
繰延ヘッジ損益	△16	-
その他の包括利益累計額合計	15,622	15,218
非支配株主持分	4,496	4,438
純資産合計	95,278	94,427
負債純資産合計	146,315	139,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	18,841	21,093
売上原価	13,400	14,876
売上総利益	5,440	6,217
販売費及び一般管理費	5,437	5,663
営業利益	3	553
営業外収益		
受取利息	36	42
受取配当金	240	283
持分法による投資利益	10	104
その他	54	76
営業外収益合計	341	507
営業外費用		
支払利息	34	53
為替差損	-	293
その他	77	27
営業外費用合計	111	374
経常利益	232	686
特別利益		
固定資産売却益	2	29
特別利益合計	2	29
特別損失		
固定資産売却損	-	4
固定資産廃却損	0	0
減損損失	-	13
その他	-	4
特別損失合計	0	21
税金等調整前四半期純利益	234	693
法人税、住民税及び事業税	161	48
法人税等調整額	△56	132
法人税等合計	104	180
四半期純利益	129	513
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	60
親会社株主に帰属する四半期純利益	103	452

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	129	513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	681	761
繰延ヘッジ損益	-	16
為替換算調整勘定	△684	△1,147
退職給付に係る調整額	11	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△65	△49
その他の包括利益合計	△57	△408
四半期包括利益	72	104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113	48
非支配株主に係る四半期包括利益	△41	56

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	casting 分野	surface 処理分野	environment 分野	transport 分野	special 機分野	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	5,873	8,268	1,751	1,234	1,682	18,810	30	18,841	-	18,841
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	107	0	117	11	35	273	613	886	△886	-
計	5,981	8,269	1,869	1,246	1,717	19,084	644	19,728	△886	18,841
セグメント利益 又は損失(△)	△14	384	32	△26	△40	335	20	355	△352	3

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計、情報関連及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△352百万円には、セグメント間取引消去36百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△389百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	casting 分野	surface 処理分野	environment 分野	transport 分野	special 機分野	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	6,890	9,680	1,963	1,299	1,228	21,061	32	21,093	-	21,093
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	119	0	102	6	77	306	561	868	△868	-
計	7,009	9,680	2,065	1,305	1,306	21,368	593	21,962	△868	21,093
セグメント利益 又は損失(△)	102	910	63	31	△153	954	50	1,005	△451	553

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計、情報関連及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△451百万円には、セグメント間取引消去38百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△490百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

関連情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

地域ごとの情報

売上高

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
10,769	1,853	1,732	1,588	1,780	1,116	18,841

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………アセアン諸国・台湾・韓国
- (2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ
- (3) ヨーロッパ……………ドイツ・スウェーデン
- (4) 南アメリカ……………ブラジル

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

地域ごとの情報

売上高

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
11,647	1,836	2,797	2,320	1,647	844	21,093

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………アセアン諸国・韓国・台湾
- (2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ
- (3) ヨーロッパ……………ドイツ・オランダ
- (4) 南アメリカ……………ブラジル